

## 山中さん、金メダル「もう見ることはない」 報道陣に披露

朝日新聞 2012年12月13日

(本文中の青太字は引用者によるものです)。

【ストックホルム＝下司佳代子】今年のノーベル医学生理学賞を受賞した山中伸弥・京都大教授が12日、ストックホルムのノーベル財団で金メダルと賞状を受け取った。報道陣に披露した山中さんは「思ったよりも重い。歴史の重みを感じます」と話した。

メダルは重さ約200グラム。表にアルフレッド・ノーベルの横顔、裏には、病気の少女を癒やすために岩から流れ出る水をくむ医学の神の姿が刻まれている。

山中さんは「展示はせず、大切に保管します。ノーベル賞は私にとって過去になりました。もう見ることもないと思います。これからは、一科学者としてやるべきことを粛々とやりたい」と真面目な顔つきで語った。

メダルと賞状は、10日の授賞式で贈られた後、晚餐（ばんさん）会の会場に展示するため回収されていた。

賞状には、金メダルのレリーフがあしらわれている。ほかの賞では、受賞者の業績から画家が想像を膨らませた絵が描かれているが、医学生理学賞は1965年以降、このシンプルなデザインがとられている。